

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年8月1日～2024年7月31日)



栄和建設株式会社



発行日：2024年10月31日

1. 組織の概要と対象範囲

1. 取組の対象組織・活動

- (1) 事業所名及び代表者氏名
栄和建设株式会社
代表取締役 和山秀明
- (2) 所在地
本社：兵庫県尼崎市東園田町3丁目66番2号
資材倉庫：兵庫県尼崎市東園田町3丁目68番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 代表取締役 和山 秀明
- (4) 事業活動内容：土木工事業、舗装工事業
- (5) 事業規模
年間売上高 671 百万円 (2023/6 ~ 2024/5)

	本社	資材倉庫	合計
総従業員 2023.4.1 現在	9 人	無人	9 人
延べ床面積	147.0 m ²	—	147.0 m ²
敷地面積	228 m ²	462 m ²	690 m ²

- (6) 建設現場等の概要 (2023/6 ~ 2024/5)
元請工事 1 件
下請工事 9 件
- (7) 事業年度 8 月～翌年 7 月
- (8) 認証・登録範囲
対象事業所 本社、資材倉庫
事業活動 土木工事業、舗装工事業

2、主な環境負荷の実績

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度	備考
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	50,573	50,813	60,001	
電力	kWh	5,954	6,150	6,437	
ガソリン	L	4,584	4,251	4,355	
重機燃料（軽油）	L	14,685	15,131	18,564	
廃棄物排出量					
一般廃棄物	トン	0.66	0.72	0.75	
産業廃棄物	トン	—	139	1765	100%再資源化
水使用量	m ³	167	132	191	工事用水を含む

電力の二酸化炭素排出係数 (2021 年関西電力、調整後排出係数) ; 0.311 kg-CO₂/kWh

3. 環境経営方針

栄和建设株式会社 環境経営方針

当社のモットーである「限りある資源を大切に！」及び「現場施工における地域社会への貢献！」に沿い、さまざまな地球環境問題を事業活動を通じて、環境負荷の低減及び環境経営システムの継続的改善に積極的に取り組みます。

- ① 電力及び燃料を節約し、二酸化炭素排出量の削減
- ② 水資源における水使用量の削減
- ③ 発生する廃棄物の削減及びリサイクルの促進
- ④ 環境コミュニケーション及び社会貢献活動の参加
- ⑤ 騒音、振動防止等に配慮した工法の採用提案
- ⑥ 全作業員への周知と社外への公開
- ⑦ 環境関連法規制を遵守します

重点分野は①、②、③である

改訂日：2020年 8月 26日

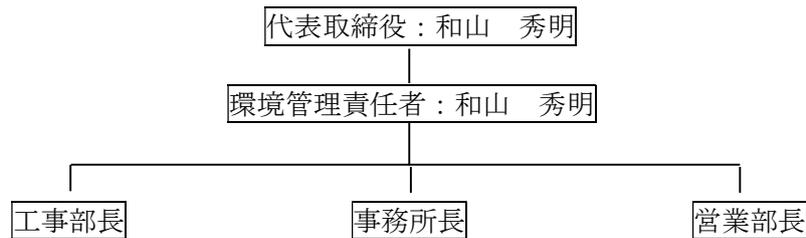
制定日：2014年 4月 30日

栄和建设株式会社

代表取締役 和山 秀明

4. 推進組織図

【栄和建设株式会社 環境経営システム推進組織図】2024. 8. 25 現在



【適用範囲】

栄和建设株式会社本社、資材倉庫、建設現場

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境方針を策定し、従業員に周知させる ③資源（人・もの・金）の用意をする ④エコアクション 21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する。 ⑥環境経営レポートの承認
環境管理責任者	①エコアクション 21 建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21 書類の承認をする ④環境委員会の委員長として EMS 全般の舵取りを行い、実行を推進する ⑤環境経営レポートを作成
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

5. 環境経営目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度 2020年度 実績	2023年度(8月~7月)			2023年度 中期目標	2024年度 中期目標	2025年度 中期目標
			当期目標	当期実績	(達成率)			
1	電力使用量の削減 ※1	5,963 kWh	5,784	6,437	(90%)	5,784 (△3%)	5,724 (△4%)	5,665 (△5%)
		1,854 kg-CO ₂	1,799	2,002		1,799	1,780	1,761
2	自動車燃料の削減(ガソリン)	5,265 ℓ	5,107	4,355	(117%)	5,107 (△3%)	5,054 (△4%)	5,002 (△5%)
		12,224 kg-CO ₂	11,857	10,104		11,857	11,734	11,613
3	自動車、重機燃料の削減(軽油)	18,014 ℓ	17,474	18,564	(94%)	17,473 (△3%)	17,293 (△4%)	17,113 (△5%)
		47,275 kg-CO ₂	45,855	47,895		45,855	45,383	44,911
4	二酸化炭素総排出量削減	62,651 kg-CO ₂	60,771	60,001	(101%)	60,771 (△3%)	60,144 (△4%)	59,518 (△5%)
5	一般廃棄物の削減	0.71 t	0.69	0.75	(92%)	0.69	0.68	0.67
6	産業廃棄物の削減(リサイクル率向上)	100%	100%	100% ※2	—	100%	100%	100%
7	水使用量の削減	203 m ³	197	191	(103%)	197 (△3%)	195 (△4%)	193 (△5%)
8	省エネ機器の設置※3	1件	1件	0件	(0%)	1件設置	1件設置	1件設置
9	下水道管渠の更生工法の施工	1件	1件	0件	(0%)	年間1件	年間1件	年間1件

各年度の目標値は、2019年度を基準に設定しています。

※1：電力の二酸化炭素排出係数：0.311 kg-CO₂/kWh (2021年関西電力、調整後排出係数)

※2：産業廃棄物のリサイクル率(%)：再生量(1,765t) ÷ 発生量(1,765t) × 100

※3：事務用品の機器を省エネ化

※4：当社では化学物質の使用はない

6. 主要な環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	環境目標 (環境方針との関連)	環境活動計画の概要	取組結果の評価 (2023/8~2024/7)		次年度の取組 内容
			目標	実績	
1	電力使用量の削減 (CO ₂ 排出量削減) (購入先:関西電力株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの洗浄 ・空調設定温度の励行 ・昼休み中の消灯 	目標: 5,784 実績: 6,437 達成率: 90%(×)	電気削減の工夫を意識をしたが、削減できなかった。	・活動を継続して定着させる。
2	自動車燃料の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップ ・相乗りをする 	目標: 5,107 実績: 4,355 達成率: 117%(○)	エコドライブの意識が浸透した。	・当面活動を継続して定着させる
3	自動車、重機燃料の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップ ・相乗りをする。 	目標:17,474 実績:18,564 達成率: 94%(×)	運転の工夫を意識しをしたが、燃料の削減できなかった。 ※1 7.45km/L	・活動を継続して定着させる。
4	二酸化炭素排出量削減 (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・電力及び燃料等の使用量を削減。 	目標:60,771 実績:60,001 達成率: 101%(○)	電力、燃料の使用量を意識して削減に取り組みました。	・活動を継続して定着させる。
5	一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙の両面使用 ・製品から出る廃棄物を購入先に回収して貰う。 	目標: 0.69 実績: 0.75 達成率: 92%(×)	一般廃棄物の量を意識をしたが、削減できなかった。	・活動を継続して定着させる。
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場での分別強化 	目標: 100% 実績: 100% 達成率: 100%(○)	分別の意識が浸透した。	・活動を継続して定着させる。
7	水使用量の削減 (総排水量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・水使用量の削減意識の向上 	目標: 197 実績: 191 達成率: 103%(○)	節水する用意識を徹底した。	・更に意識を徹底させる
8	省エネ機器の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器の設置を積極的に行う。 	目標: 1 実績: 0 達成度: 0%(×)	省エネの機器の設置が出来なかった。	・事務所を省エネ機器に取り替えていきます。
9	下水道管渠の更生 工法の施工	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した施工を行う。 	目標: 1 実績: 0 達成度: 0%(×)	環境に配慮した工法を取り組めなかった。	・工法の提案が可能であれば積極的に取り組む。

(注 ; ○ ; 目標達成、 × : 目標未達成)

※1 3tダンプ(9324)の8月~7月間の計測値。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

遵守評価日：2024年8月26日

No.	適用される法律名	遵守すべき内容	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結 マニフェスト伝票の管理 (A.B1, B2, C2, D, E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守 産業廃棄物収集運搬業許可書 (自社専用) (有効期限 令和6年11月11日)	遵守 遵守 遵守 遵守
2	騒音規制法	85 d B(騒音)の遵守 特定建設作業実施届出の提出	遵守
3	振動規制法	75 d B(振動)の遵守 特定建設作業実施届出の提出	遵守
4	建設リサイクル法	再資源化等完了報告	遵守
5	消防法	少量危険物及び指定可燃物の保管の届出 消火器の設置	遵守 遵守
6	災害時における応急対策業務に関する協定書	災害発生時に応援派遣する 体制・資材の確保	遵守

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

エコアクション21を取り組み9年経過しました。

目標が達成出来なかった項目が多いので社員への意識向上に努め、環境目標に向かって取り組んでいきたいと思っております。

環境経営方針は変更なし

環境経営目標及び環境経営計画は変更なし

実施体制は変更なし

実施年月日 2024年9月18日

栄和建设株式会社

代表取締役 和山 秀明

以上